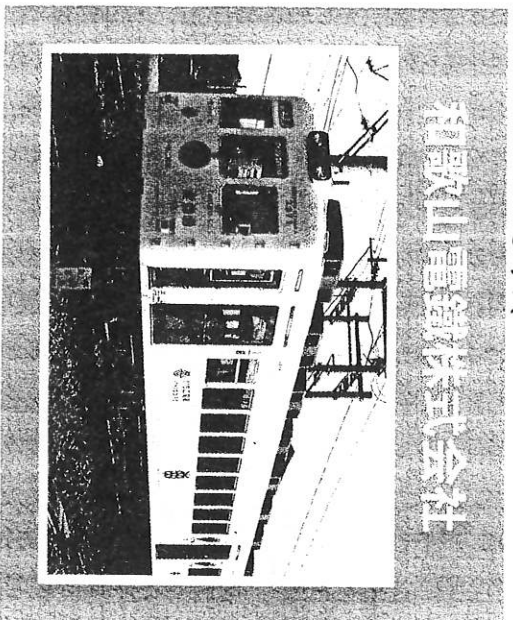


# 紀民地鉄行

由緒ある三社巡る一日  
色どりの電車で  
社員として働く猫たちが、  
参拝の道をつないでくれる



「三社参り」という風習があるという。親子三世代で一緒に神社をお参りするといふ意味で、三つの社にお参りすると「三社参り」の意味がある。和歌山県にある日前神宮・國懸神宮、竈山神社、伊太祁曽神社をお参りすることは、後者の「三社参り」の意味になる。その三社、すべてがあるのが、和歌山電鉄貴志川線沿線。といっわけで、御朱印帳の準備よし、三社参りに出発。

写真を撮らずにいられない

和歌山電鉄貴志川線の和歌山駅改札はJR和歌山駅の構内にある。普通乗車券はJRの改札脇の券売機で購入できるけれど、一日乗車券は和歌山電鉄の改札での販売。JRの駅員さんに声を掛け、JRの改札を通過させてもらうことになる。乗車券なしの状態は落ち着かない。足早に和歌山電鉄の改札に向かう。ホームに出ると真っ赤な電車が停車中。カマフラな座席シートに木製の吊り輪、カマフラトイの販売機やおもちゃを飾ったケースも置かれた「おもちゃ電車」だ。観光客なら写真を撮らずにいられない。カメラと写真や動画を撮影している観光客と、平然と座っている地元利用者のしき乗客の割合は、7対3くらいで観光客が優勢。観光客のほとんどは、どこやら中国語圏からのお客さま。中国語が飛び交う賑やかな車内撮影会が落ち着いた頃、電車が出発。予想より速いスピードで住宅街を走り抜けていく。最初の降車駅は日前神宮・國懸神宮最寄りの日前宮

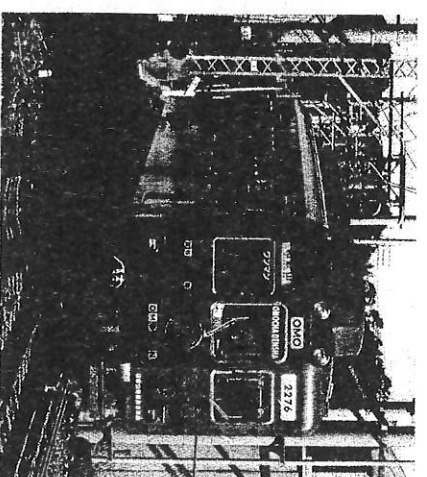
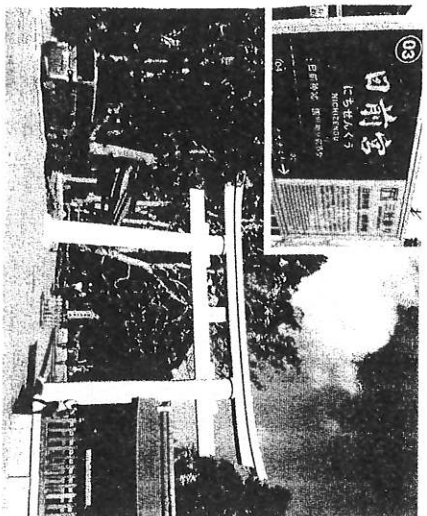
駅。和歌山駅からはたった2駅、あついで間に到着する。

思わぬところで

観光客の皆さんの乗車目的は「三社参り」他になし。目指す日前神宮・國懸神宮は駅からはなかつたところで、日前宮駅での降車客は他になし。目指す日前神宮・國懸神宮は駅からはなかつたところで、日前宮駅での降車客は隣り合って建っている。摂社、末社も複数あるけれど、地域の中で最も位の高い神社「之宮」とざれているだけあって、境内は広々左右を学校に挟まれているのに、生い茂った木々が壁になっているのか壁々しさはなく行き交う参拝者の静かな気配が心地よい。ゆくり参拝を済ませ、御朱印を受け取って駅に戻る。次の2社目の竈山神社最寄りの竈山駅は、日前宮駅の次の次。歩こうかなとも思っただけれど、タイムリグよく電車が到着。今度は列車を擬人化したアニメ・チャギントのフットボール電車で揺られて竈山駅まで。

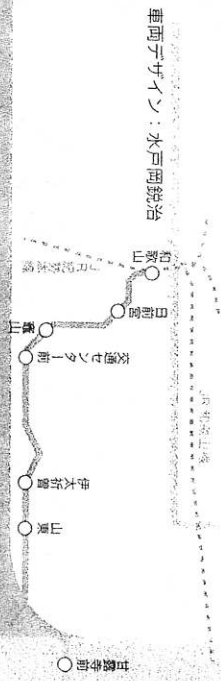
案内表示によれば、駅から竈山神社までは、住宅地を抜けて行くルートが歩きやすくお薦めだといふが、車道沿いを歩く一本道もある。歩きやすさより、早く迷わず行けるような一本道を選んで進むと、確かに車道沿いの道は歩道が狭い上、車通りも多くて歩きにくい。「お薦めには従っておくべきだったかな」と感じ始めた頃、木々に覆われた竈山神社が見えてくる。

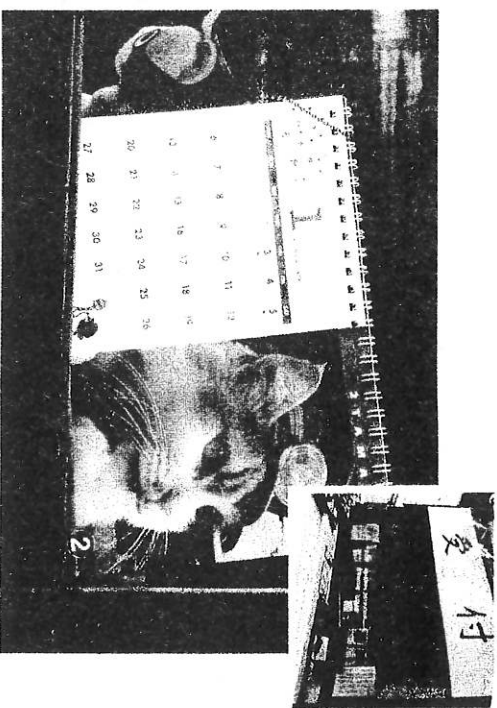
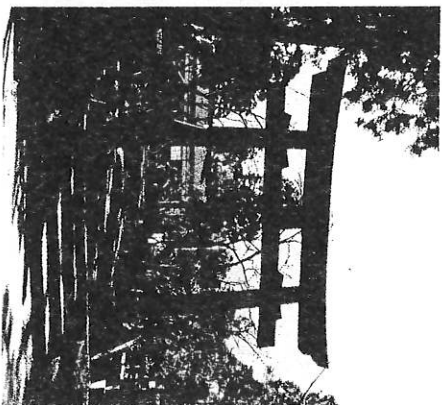
竈山神社に祀られているのは、神武天皇の兄、彦五瀬命。本殿の背後には、戦で傷つき崩御された彦五瀬命の陵墓もある。皇室に連



神社の名前としては「日前神宮」。駅名では「日前宮」と  
どの電車も写真を撮らずにいられない、可愛さ面白さ  
読む

**和歌山電鉄貴志川線**  
【わかやままでんてつきしかわせん】  
和歌山駅から貴志駅を約30分で結ぶ。沿線には日前神宮・國懸神宮、竈山神社、伊太祁曽神社の三社があり、伊太祁曽駅、貴志駅に勤務する猫駅長たちが観光客に人気。





伊太祈曽神社の鳥居は木製。伊太祈曽駅には「よんたま」駅長が勤務。猫駅長に会いに行くには、公休日要注意

龜山神社の社務所には、和歌山電鉄の猫社員カレンダーが

なる方が眠る場所は人の気配もなく、足音が気になるほど、ひたすら静か。人を探して社務所をのぞくと、ガラス越しに猫の写真、よく見れば、写真は和歌山電鉄の猫社員カレンダー。写っているのは多分、ニタマ駅長だ。思わぬところで見つけた姿に、何だかちよこっとホッとして、嬉しくなる。

参拝後、嬉しくなった気分のままに、今度はこそ沿線を歩いてみる。線路から付かず離れずの川沿いの道は、周囲に高い建物もなく開放感たっぷり。いくらでも歩けそこに思える社のある伊太祈曽駅は龜山駅の4駅先。さすがに歩き通すには距離があるので、2駅分歩いて岡崎前駅から電車で移動。

### 最後の社は「木乃神」

伊太祈曽駅は、ニタマ駅長の後輩・よんたま駅長の勤務。ところが本日、よんたま駅長は公休日で駅長室は空っぽ。残念だけれど仕方がない、駅を出て伊太祈曽神社に向かう。

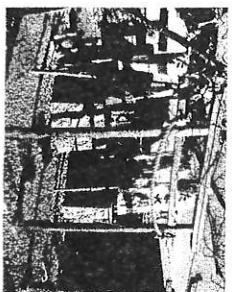
記された御朱印をいただいて、「三社参り」は無事終了。

### ニタマ駅長のお薦めは？

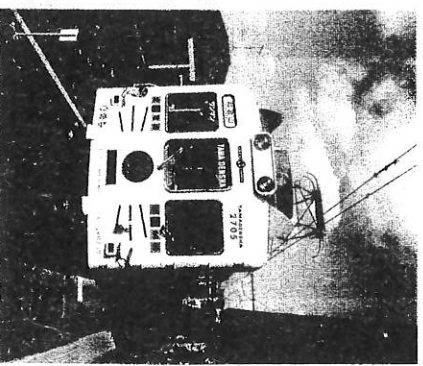
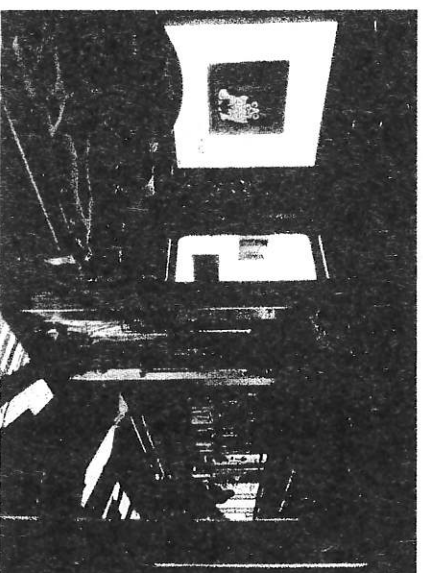
伊太祈曽駅に戻り、ニタマ駅長がいる貴志駅行きの電車を待っている。やって来たのは猫耳とひげの生えた「たま電車」。2015年に名誉永久駅長になった「たま」のイラストやモチーフに溢れた電車は車外も車内も猫づくし。あれこれ写真を撮るうちにあつという間に貴志駅到着。ホームに降りると、入れ替わるように待っていた人たちが乗り込み、撮影会は途切れなく続く。「たま電車」は大人気だ。

一方、下車した人々が向かう先にはニタマ駅長のお尻？ ガラス張りの部屋の中、のぞき込む人々にモウモウしてお尻を向けてお休み中。顔を上げたかと思つと、すぐまた伏せてしまつ、つれない駅長。しっこくするのめ失礼なので、ほどほどにしてホームに戻る。目的は、ホームにある、たま駅長を祀つた神社。大明神になった、たま駅長に挨拶の参拝。

だめには、あと1時間半ほど時間がある。貴志駅周辺で何をしようか。とりあえず、再びニタマ駅長の元に行く。たま大明神のご利益が、なんと駅長が起きている。のぞき込んでも顔を背けず、こちらを見返し、撮影にも応じてくれる。ねえ駅長、貴志駅周辺のお薦めスポットはどこですか？



たま神社は貴志駅ホームにある。起きてくれた「ニタマ」駅長。たま大明神のご指導？



たま電車は特に大人気。運行時間はホームページでも調べられる